

# 令和6年度愛媛大学基金の収支について

## 1. 令和6年度 基金受入状況 【別紙1～3】

### (1) 寄附受入金額

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
受入件数 (実人数)	2,147件 (1,320件)	1,633件 (1,082件)	1,526件 (976件)
受入金額	239,022千円	314,910千円	197,997千円

目標金額：115,000千円 ⇒ 実績：141,899千円（達成率：123%）

※特殊要因による寄附を除く

### (2) 教職員からの寄附者数

目標人数：250人以上 ⇒ 実績：177人（達成率：70%）

## 2. 基金の主な取組み

### (1) ファンの獲得

社会共創学部やデジタル情報人材育成機構等の部局と連携し、企業訪問を実施することにより、寄附につなげた。

また、高額寄附をいただいた個人の方には、学長自ら自宅へ伺い感謝状を贈呈する等、フォローアップに努めた。

### (2) 新たな特定基金の創設

#### 1) 工学支援基金（令和6年6月）

工学部、理工学研究科（工学系）の教育・研究活動、環境整備及び広報活動の支援を目的に、「工学支援基金」を創設した。

#### 2) デジタル情報人材育成基金（令和6年6月）

デジタル情報人材育成機構の教育、研究、社会連携すべてにわたる活動の充実に資することを目的に、「デジタル情報人材育成基金」を創設した。

#### 3) 連合農学研究科（40周年記念事業）支援基金（令和6年7月）

連合農学研究科設立40周年の記念事業のほか、教育研究環境の整備及び学生の研究活動を支援することを目的に、「連合農学研究科（40周年記念事業）支援基金」を創設した。

### (3) 新たな冠事業の創設（令和6年6月）

株式会社フジ様からご寄附の申出をいただき、社会共創学部が行う学科横断的な実践プログラムの構築への支援に対し、「フジ×社会共創学部 人材育成プログラム 連携事業」を創設した。

#### **(4) クラウドファンディングの実施**

9月に教職員を対象としたクラウドファンディング活用セミナーを行う(参加者19人)とともに、個別相談会を城北キャンパス及び重信キャンパスで行った(参加者はそれぞれ3人、2人)。

また、2つのクラウドファンディングを実施し、総額21,525千円の支援を受けた。

#### **(5) 遺贈寄附に向けた金融機関との連携**

遺贈寄附に関する連携協定を提携している3つの金融機関と連携し、相続・遺贈セミナーを10月に開催(参加者6人)し、遺贈寄附の普及に努めた。

なお、提携銀行を通じて、3月には本学初となる遺贈寄附をいただいた。

#### **(6) 教職員からの寄附促進**

「マンスリー・ワンコイン寄附キャンペーン」や「クラウドファンディング」実施に伴い、主として、BBS-Mailによる寄附の呼びかけを行ったが、1(2)教職員からの寄附者数は、目標に達しなかった。

#### **(7) 謝意の見直し**

農場生産物(以下「生産物」という)の収穫量の減少に伴い、謝意として提供できる生産物が寄附者に行き渡らない状況を踏まえ、「品種別(例:マスカット・ベリー)」を「種類別(例:ぶどうセット)」に変更するとともに、寄附額に応じた謝意(生産物)の区分を見直した。

#### **(8) ギビングキャンペーンの開催(令和6年10月)**

学生の課外活動の応援・支援を目的として、民間会社が運営するオンラインチャリティイベント「ギビングキャンペーン2024」に本学も参加した。これは、学生団体自らが活動資金を募る新たな寄附手法で、全国100の大学が参加、本学は1,179千円の資金を獲得した。

#### **(9) 11/2大雨災害復旧支援に係る寄附の募集(令和6年12月)**

令和6年11月2日に発生した大雨により、本部棟の地下室をはじめ、城北キャンパスや附属農場等の多くの施設において、浸水被害があった。

このため、災害復旧支援として寄附を募ったところ、教職員53人を含め、学外からも総額11,147千円のご寄附をいただいた。

#### **(10) 医学部附属病院開院50周年記念事業に係る寄附の募集開始(令和7年3月)**

医学部附属病院が令和8年に開院50周年を迎えるにあたり、患者サービス向上事業の推進、催事の開催、記念誌の発行等を目的とした記念事業を立ち上げ、寄附募集を開始した。

### **3. 活用状況**

#### **(1) えみか夢基金**

1) 地域定着促進特別奨学金:5,000千円(200千円×25人)

- 2) [新規] 松山市清水地区(緑町)土砂災害の被害を受けた学生への見舞金:1,250千円(50千円×25人)
- 3) [新規] 11/2大雨災害復旧支援(清掃・消毒、設備復旧等):10,931千円
- 4) [新規] 就職活動支援:990千円  
※キャリア支援管理のプラットフォーム「キャリタス UC」に要する経費
- 5) 学生海外派遣支援事業:5,423千円(135人)

## (2) 未来教育基金

修学サポート奨学金:1,875千円(268千円×7人)

## (3) 若手研究者支援基金

若手研究活動支援事業:2,500千円(500千円×5人)

## (4) 医学部支援基金

- 1) 学生教育実習支援事業:22,621千円
- 2) 研究機器整備事業:3,242千円

## (5) 理学支援基金

県内企業紹介誌作成費:385千円

## (6) 課外活動支援基金

[新規] 硬式野球部 バッティングゲージ購入費:1,225千円

## (7) 古本募金事業

学生用図書購入費:100千円

## (8) 冠事業【別紙4】

- 1) 太陽石油奨学金:9,750千円
- 2) 愛媛銀行海外留学応援奨学金:500千円
- 3) コンピューターシステム株式会社 コロナに負けるな!学生応援奨学金:349千円
- 4) 関奉仕財団留学支援奨学金:1,080千円
- 5) 中嶋家(中嶋洋及び先祖のおもひ)研究基盤整備支援事業:3,851千円

## <資料>

- 【別紙1】令和6年度収支報告書
- 【別紙2】令和6年度月別寄附受入状況
- 【別紙3】令和6年度寄附受入状況(グラフ)
- 【別紙4】令和6年度冠事業実績報告

## 愛媛大学基金 令和6年度収支報告書

(単位：円)

事 項	前年度から繰入	基金受入額	基金活用額	次年度へ繰越	備考
<b>一般基金</b>	129,829,011	69,099,999	40,108,920	158,820,090	
えみか夢基金	129,829,011	69,099,999	① 40,108,920	158,820,090	
えみか夢基金	129,829,011	36,869,500	8,095,377	158,603,134	
その他	0	32,230,499	32,013,543	216,956	
特例基金	0	0	0	0	
<b>特定基金</b>	480,106,932	114,630,500	53,063,407	541,674,025	
未来教育基金	37,479,777	13,730,500	② 2,111,974	49,098,303	
若手研究者支援基金	13,345,170	16,702,500	③ 2,864,097	27,183,573	
医学部支援基金	372,081,663	27,056,000	④ 36,981,245	362,156,418	
医学部支援基金	160,619,575	26,241,000	36,012,583	150,847,992	
三井住友コロナ対応応援寄附金	2,161,666	0	619,064	1,542,602	
医学部創立50周年記念事業	209,300,422	0	349,598	208,950,824	
附属病院開院50周年記念事業	—	815,000	0	815,000	
基礎医学研究推進基金	3,824,799	1,980,000	40,433	5,764,366	
ユーカリ基金	10,485,035	324,000	1,408,334	9,400,701	
紙産業研究教育基金	4,621,760	10,000	527	4,631,233	
四国遍路研究基金	2,634,866	299,500	352,177	2,582,189	
附属学校園支援基金	1,581,151	76,000	64,224	1,592,927	
地域創生基金	2,505,589	10,000	6,327	2,509,262	
施設維持管理基金	626,115	1,000	34	627,081	
理学支援基金	1,822,865	1,115,000	⑤ 463,105	2,474,760	
デジタル情報人材育成基金	18,442,542	31,000,000	5,063,782	44,378,760	新設
※「データサイエンスみらい基金」は「デジタル情報人材育成基金」へ統合					
広報人材育成基金	108,808	0	677	108,131	
課外活動支援基金	2,351,043	536,000	⑥ 1,267,098	1,619,945	
アントレプレナーシップ育成基金	195,749	1,020,000	⑦ 643,185	572,564	
工学支援基金	8,000,000	20,720,000	1,794,488	26,925,512	新設
連合農学研究科(40周年記念事業)支援基金	—	50,000	1,700	48,300	新設
<b>その他基金活動</b>	31,605,703	54,670,560	22,834,011	63,442,252	
財物	0	110,000	⑧ 110,000	0	
遺贈	0	10,000,000	0	10,000,000	
古本募金事業	514,865	276,457	⑨ 105,645	685,677	
クラウドファンディング	0	21,525,000	6,990,045	14,534,955	
ギビングキャンペーン	—	1,179,103	97,801	1,081,302	
冠事業	31,090,838	21,580,000	15,530,520	37,140,318	
太陽石油奨学金事業	10,000,000	10,000,000	⑩ 9,750,000	10,250,000	
愛媛銀行海外留学応援奨学金事業	300,000	500,000	⑪ 500,000	300,000	
コンピューターシステム株式会社	349,420	0	⑫ 349,420	0	
コロナに負けるな！学生応援奨学金事業	0	1,080,000	⑬ 1,080,000	0	
関奉仕財団留学支援奨学金事業	0	1,080,000	⑬ 1,080,000	0	
中嶋家(中嶋洋及び先祖のおもひ)	20,441,418	5,000,000	⑭ 3,851,100	21,590,318	
研究基盤整備支援事業	—	5,000,000	0	5,000,000	
フジ×社会共創学部	—	5,000,000	0	5,000,000	
人材育成プログラム連携事業	—	5,000,000	0	5,000,000	
<b>基金運用益</b>	609,648	620,773	771,838	458,583	
<b>合計</b>	<b>642,151,294</b>	<b>239,021,832</b>	<b>116,778,176</b>	<b>764,394,950</b>	

6年度末 累計受入総額	6年度末 累計活用総額
1,501,424,893	737,029,943

参考)

- ①地域定着促進特別奨学金25人(5,000千円)、清水地区土砂災害を受けた学生への見舞金(1,250千円)、11/2大雨災害復旧支援(10,931千円)ほか  
 ②修学サポート奨学金7人(1,875千円)ほか ③若手研究活動支援事業(2,500千円)ほか  
 ④学生教育実習支援事業(22,621千円)、研究機器整備事業(3,242千円)ほか ⑤県内企業紹介誌作成費(385千円)ほか  
 ⑥硬式野球部バッティングゲージ(1,225千円)ほか ⑦ビジネスプランコンテスト賞金(300千円)ほか ⑧ポッチャー式(110千円)  
 ⑨学生用図書購入(100千円)ほか ⑩奨学金20人(9,750千円) ⑪奨学金5人(500千円) ⑫奨学金2人(349千円) ⑬奨学金4人(1,080千円)  
 ⑭研究基盤整備支援事業(3,851千円)

## 令和6年度月別寄附受入状況

愛媛大学基金 愛称：愛犬(あいだい)基金	参考 (R5年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般基金	23,561	43	97	4,468	3,546	2,473	5,435	1,185	2,339	42,894	5,558	327	738	69,100
えみか夢基金	23,561	43	97	4,468	3,546	2,473	5,435	1,185	2,339	42,894	5,558	327	738	69,100
特定基金	279,289	1,609	5,164	23,640	4,345	1,440	1,098	2,746	6,001	32,885	817	1,195	33,694	114,631
未来教育基金	4,431	520	80	68	128	25	317	825	5,564	5,718	169	74	244	13,731
若手研究者支援基金	1,416	6	1,056	7	5	5	5	65	15	15,126	318	10	85	16,703
医学部支援基金 (開院50周年記念事業)	248,934	38	13	3,373	1,114	14	246	291	41	816	122	47	20,132	27,056
基礎医学研究推進基金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(815)	(815)
基礎医学研究推進基金	1,327	10	10	10	10	1,010	10	560	10	10	10	15	315	1,980
ユーカリ基金	3,944	5	5	60	25	15	25	25	35	70	29	18	18	324
紙産業研究教育基金	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10
四国遍路研究基金	276	20	0	20	0	20	61	93	15	6	3	30	32	300
附属学校園支援基金	149	12	2	2	14	2	2	2	2	27	12	2	2	76
地域創生基金	35	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
施設維持管理基金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
理学支援基金	997	0	0	0	0	310	434	200	60	10	100	0	1	1,115
データサイエンス みらい基金	7,100	0	4,000	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,000
デジタル情報 人材育成基金	—	—	—	20,000	3,000	0	0	0	0	1,000	0	1,000	2,000	27,000
広報人材育成基金	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
課外活動支援基金	2,364	0	0	101	50	0	0	10	250	101	25	0	0	536
アントレプレナー シップ育成基金	198	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	1,020
工学支援基金	8,000	—	—	0	1	40	0	676	0	10,003	0	0	10,000	20,720
連合農学研究科 (40周年記念事業) 支援基金	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50
その他の基金活動	12,060	42	58	9,056	5,020	14	1,194	5,018	506	13,695	33	4	20,651	55,291
財物 〔特例基金〕	0	0	0	0	0	0	110	0	0	0	0	0	0	110
遺贈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
古本募金事業	208	42	58	6	20	14	4	18	6	41	33	4	30	276
クラウドファンディング	0	0	0	9,050	0	0	0	0	0	12,475	0	0	0	21,525
ギビングキャンペーン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,179	—	—	—	1,179
冠事業	11,580	0	0	0	5,000	0	1,080	5,000	500	0	0	0	10,000	21,580
基金運用益	272	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	621	621
合計	314,910	1,693	5,318	37,163	12,911	3,926	7,727	8,948	8,845	89,474	6,408	1,526	55,083	239,022

※基金毎の毎月の表示は、四捨五入による整理。縦軸の合計及び横軸の計欄は、累計額を四捨五入し整理しており、表示上合致しないことがある。

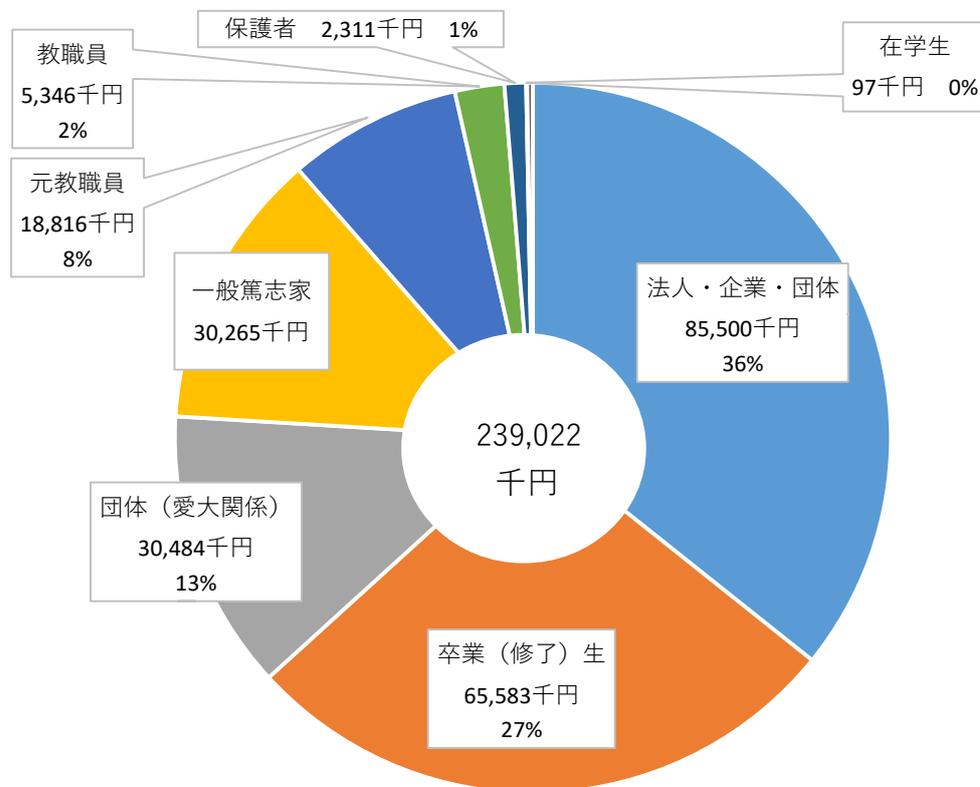
(単位：千円)

参考 受入(累計)状況 平成28年度182,088千円、平成29年度96,432千円、平成30年度95,794千円、令和元年度84,580千円、令和2年度163,843千円、令和3年度126,760千円、令和4年度197,997千円、令和5年度314,910千円、令和6年度(本年度)239,022千円 累計1,501,425千円

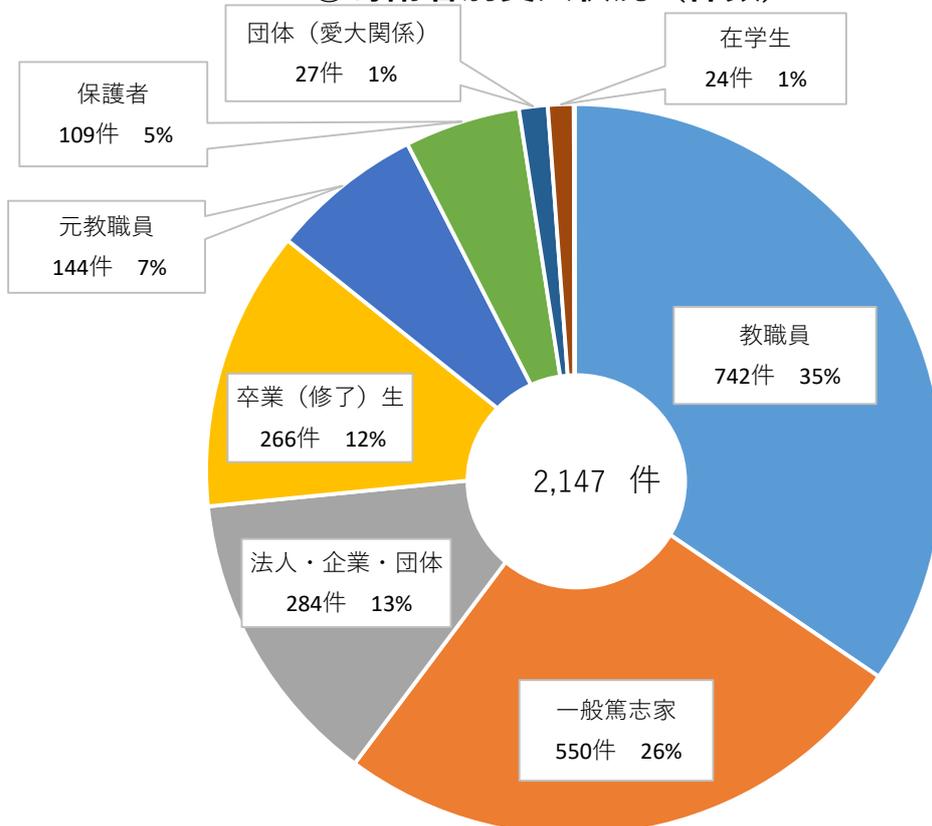
税額控除対象事業

# I 令和6年度寄附者別寄附受入状況

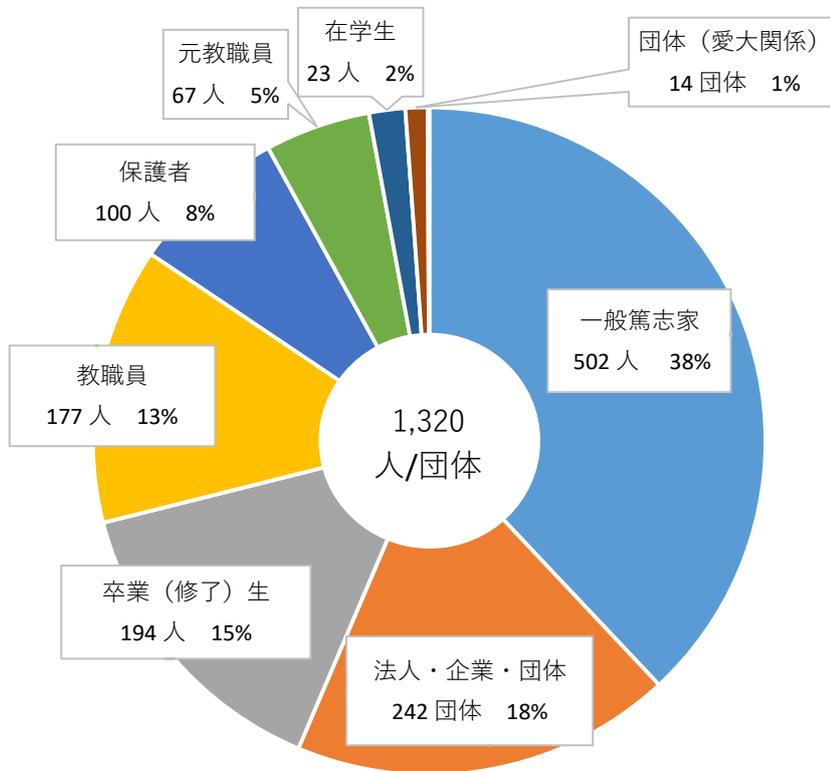
## ①寄附者別受入状況（金額）



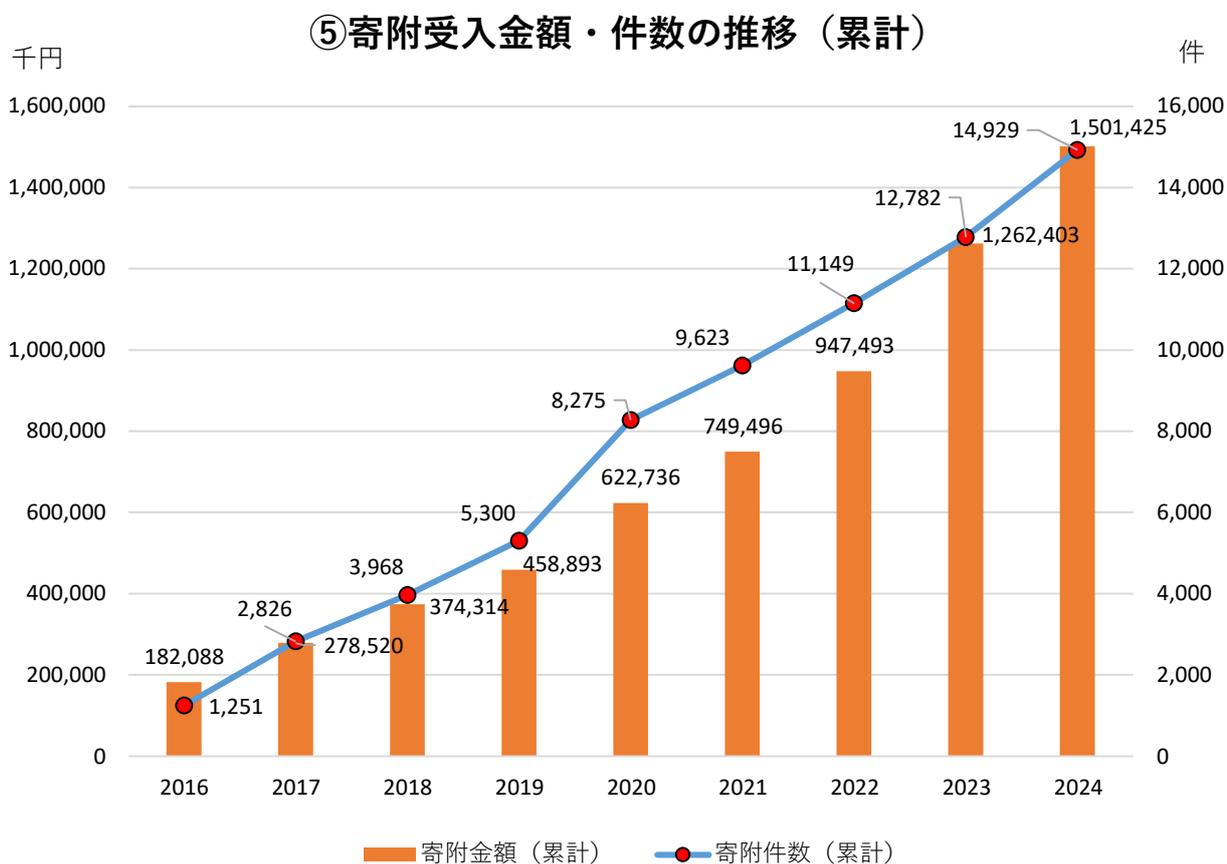
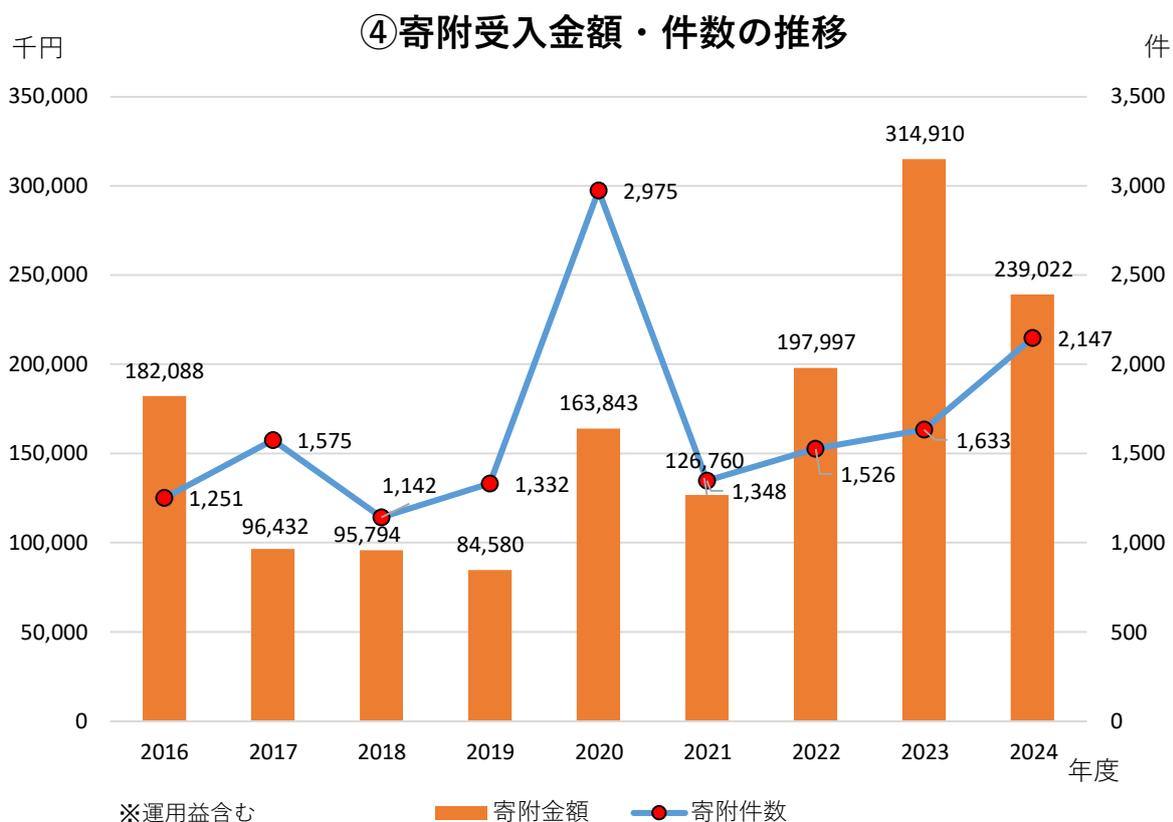
## ②寄附者別受入状況（件数）



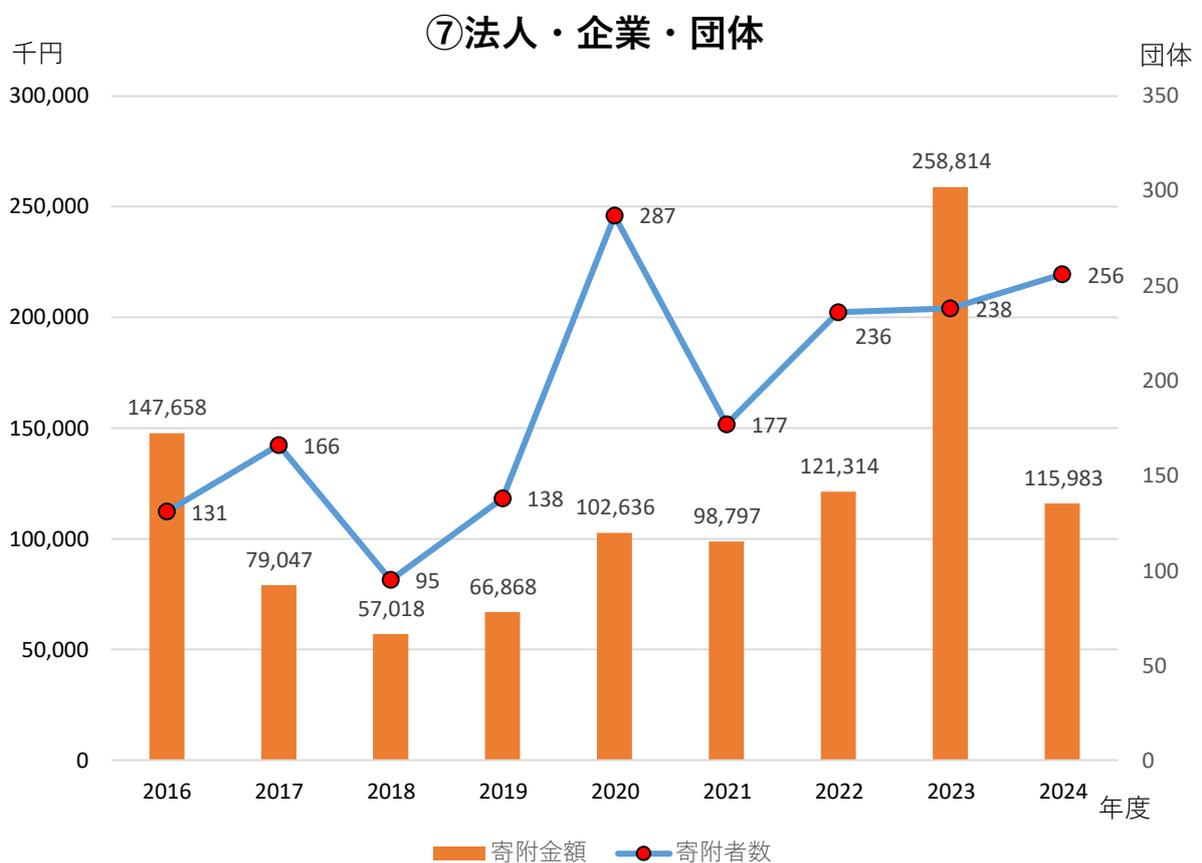
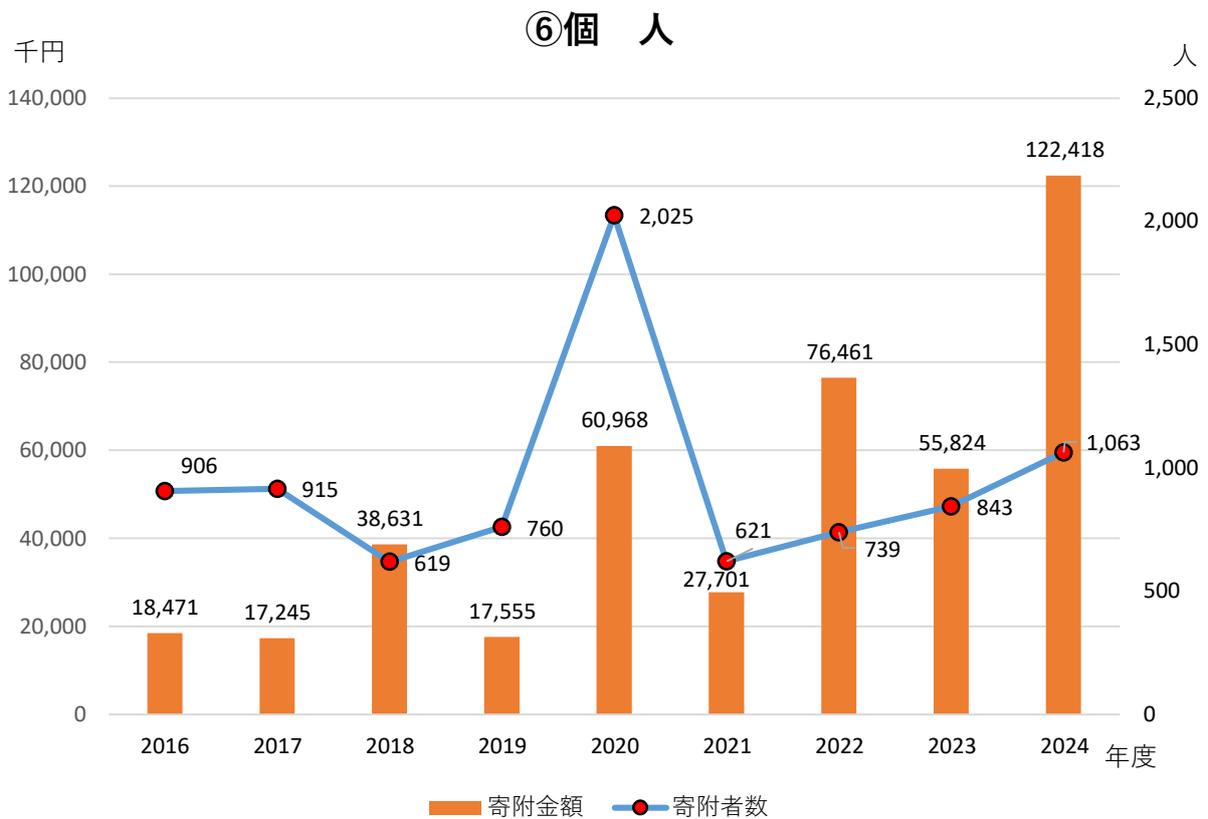
### ③寄附者別受入状況（実数（実人数・団体数））



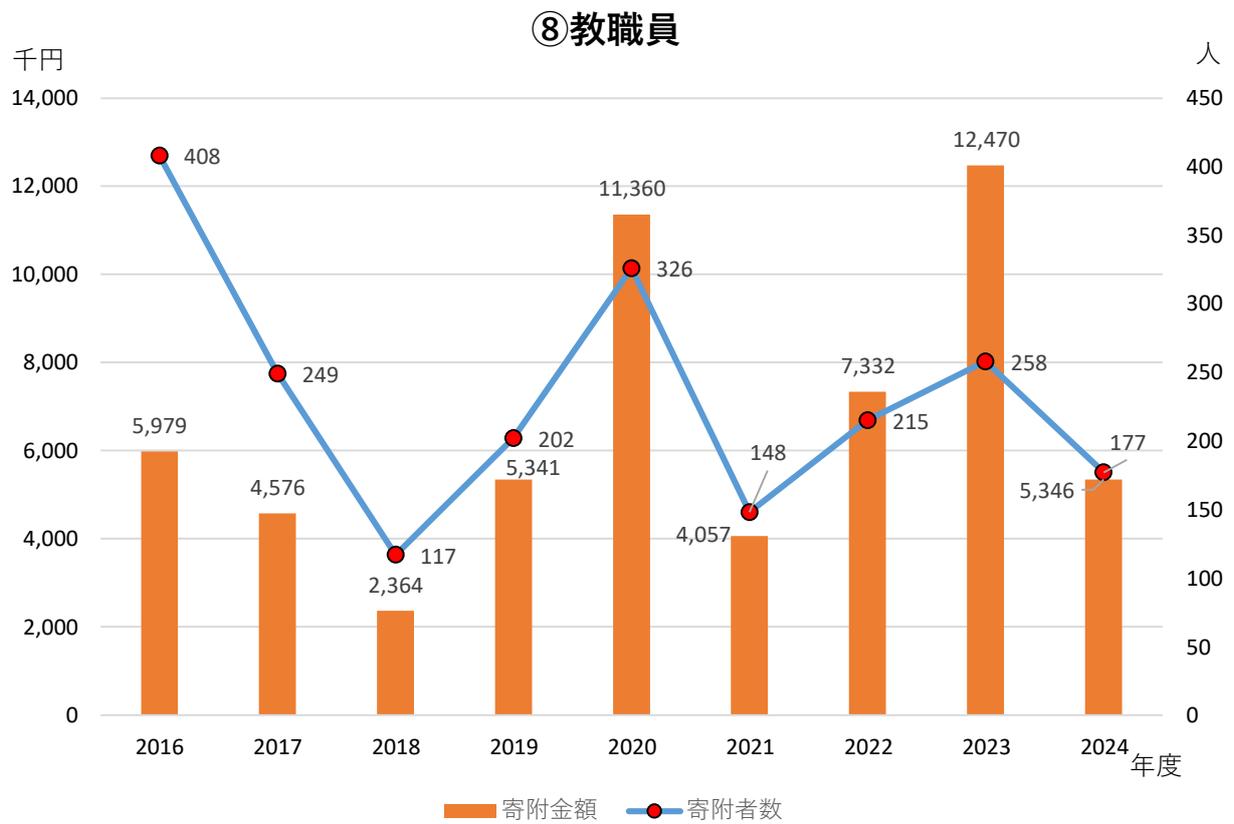
## II 寄附受入状況の推移(2016～2024年度)



### Ⅲ 寄附者数（個人、法人・企業・団体）実数の推移



## IV 教職員からの寄附受入状況の推移



## 令和6年度冠事業実績報告

### 太陽石油奨学金事業

目的	ア) 学業に専念できるような環境づくりを支援 イ) 生産拠点のある愛媛県に立地する国立大学法人愛媛大学の人材育成機能を期待
奨学金の種類	給付型奨学金
給付人数	20人
給付金額	500千円（夜間主の学生：250千円）
支援総額	9,750千円

### 愛媛銀行海外留学応援奨学金事業

目的	海外留学を行う学習・研究意欲のある学生が、留学先でより充実した環境下で勉学に励むことができるよう、海外留学に係る準備の支援
奨学金の種類	給付型奨学金
給付人数	5人
給付金額	100千円
支援総額	500千円

### コンピューターシステム株式会社コロナに負けるな！学生応援奨学金事業

目的	海外留学を希望する日本人学生が学業に専念できる環境づくりを支援するとともに未来を担う人材育成を支援
奨学金の種類	給付型奨学金
給付人数	2人
給付金額	180千円
支援総額	349千円 不足分は学内予算で措置

### 関奉仕財団留学支援奨学金事業

目的	外国人留学生や海外留学を希望する日本人学生が学業に専念できる環境づくりを支援するとともに未来を担う人材育成を支援
奨学金の種類	給付型奨学金
給付人数	外国人留学生 2人 日本人学生 2人
給付金額	外国人留学生 360千円 日本人学生 180千円
支援総額	1,080千円

### 中嶋家（中嶋洋及び先祖のおもひ）研究基盤整備支援事業

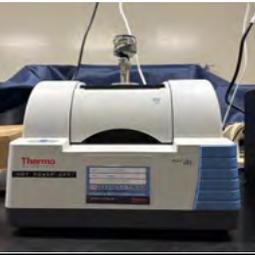
目的	研究設備・機器の修理、修繕または改修による研究基盤整備支援
支援総額	3,851千円

フジ×社会共創学部 人財育成プログラム連携事業

目的	フィールドワーク科目「フィールド実習」における移動・宿泊及び設備費等	
支援総額	0円 令和6年度は、他の予算を用意していたため寄附金を使用しなかったが、令和7年度以降は、下記の事業を予定している。	
R7 支援予定	事業内容	金額
	<b>【産業マネジメント学科】</b>	
	バス借上費（77,000円×4回）	50,000
	<b>【産業イノベーション学科】</b>	
	レンタカー台（50,000円×1回）	90,000
	バス代（松山～四国中央、1台×1回）	80,000
	教員旅費（四国中央市～松山市）	50,000
	学生旅費（松山市～愛南町、12名分）	30,000
	学生宿泊費（愛南町、3泊4日、12名分）	90,000
	<b>【環境デザイン学科】</b>	
	バス借上費（愛媛県内・四国内）；25,000円×2回）	300,000
	バス借上費（松山市～八幡浜市）；45,000円×2回）	308,000
	自家用車費用（松山市～20市町；高速代金を含む）	50,000
	調査費（再生可能エネルギー設備）	50,000
	<b>【地域資源マネジメント学科】</b>	
	バス借上費（松山市～西予市三瓶町；100,000円×3回）	110,000
合計	1,208,000	

令和6年度中嶋家(中嶋洋及び先祖のおもひ)研究基盤整備支援事業 整備対象研究設備・機器一覧(実績報告)

整理No.	部門名	機器名(規格・社名)等	主な用途	整備の必要性・効果	機器等の写真	年間利用数 (利用人数・利用時間)	取得金額 (税込):円	取得日	修理完了日	金額(税込):円	整備の効果(詳細ならびに客観的に分かる数値 (修理前後の利用件数の推移等))
1	物質科学研究支援部門	誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-OES) (Optima8300DV・Perkin-Elmer)	アルゴンプラズマに導入した試料の発する光を分析することで、含まれる元素を調べることが出来る装置です。低濃度(ppm)の元素を短時間で定性・定量分析できることから、環境分析、生命科学、材料工学など幅広い分野の研究に利用されます。特に微量金属の分析に使用されます。	本学で共同利用されている唯一の発光分析装置ですが、本体冷却部故障のため本年7月より稼働停止しています。工学部、理学部、研究センターなど多くの研究グループからの利用希望があり早急な修理が望まれています。修理によって、教育研究の支援活動を行うことが出来ます。		2021年度:46件・165時間 2022年度:49件・199時間 2023年度:改修のため停止	13,996,500	2013/9/1	2024/10/31	913,660	修理により冷却機能が回復し、順調に使用できている。利用停止期間があり、令和6年度の利用件数は17件であった。しかしながら、修理期間中も工学部、理学部、紙産業イノベーションセンターなどの部局から利用問い合わせが多くあったことから、今後も継続して利用が見込まれる。
2	遺伝子解析研究支援部門	静脈認証管理サーバー (日立情報制御ソリューションズ)	センター玄関、4階の動物飼育室とP3実験室に出入りするための静脈認証のサーバー用	サーバーのパソコンが故障しており、静脈認証をする機器自体は動いているので出入りすることは問題はないが、誰が利用したかの確認や、新たにセンターを利用する人が登録できず自由に入出りできない状態。静脈認証に係る管理作業の支障が改善される。入退管理システムを維持することで劇毒物、遺伝子組み換え生物の管理を強化することができ、生化学、遺伝子工学の教育研究に貢献する。		【学内】2023年度:79名・一人当たり1時間から8時間 2024年度現在:124名・一人当たり1時間から8時間【学外】2023年度:15名・一人当たり2時間半 2024年度現在:11名・一人当たり2時間半	静脈認証管理システム: 1,428,000 認証コントローラー: 453,600円	静脈認証システム: 2007/9/7認証コントローラー: 2008/3/28	2024/12/4	22,000	整備前は、管理システムのパソコンが故障したことにより既に登録している利用者しか出入りができず、システムのOSが古いことから防犯上、教育研究において支障が起きる恐れがあった。しかし、管理システムと同じOSのパソコンが物質科学研究支援部門にあり、お譲り頂き管理システムを復旧したことで新規利用者の登録が可能となった。新規利用者が登録している人と同伴しての入退、入退する時間の制限がなくなり、教育研究に係る制限がなくなった事により2025年度も同様の利用者数が見込まれる。2024年度登録者数186人、2025年度登録者数111人(5月現在)
3	医科学研究支援部門	マウス/ラット用セーフティラック(CL-5443-M・日本クレー株式会社)の送風機交換	免疫不全動物の清浄環境下での飼育および厳格な微生物制御	免疫不全動物は医科学研究において必要不可欠であるが、易感染性であり清浄に管理されたSPF環境下で隔離して飼育する必要がある。セーフティラックは吸排気ともHEPAフィルターによって清浄に濾過しており、動物・飼養者双方に安全で、免疫不全動物の飼育に適している。現在、吸排気を制御する送風機が経年劣化により異音が生じており、適切な動物飼養環境とは言えず、実験データにも支障が生じるため早急な交換が必要である。		稼働時間:365日/年	5,481,000	2010/3/26	2024/8/26	475,200	導入から10年以上が経過し、経年劣化からくる異音により実験に支障が出る可能性があったが、送風機の交換を行うことで異音が解消し、実験動物・利用者双方にとって適正な飼養環境が確保できるようになった。今回の整備によって、免疫不全動物を適切な無菌環境で継続的に安定飼育することが可能となり、既存ユーザーの利用促進・新規ユーザーの開拓による利用件数の増加が見込まれるだけでなく、研究活動の推進・最先端研究の支援に多大な貢献を行うことができた。
4	応用タンパク質研究支援部門	エアコンプレッサー(SC22-LABO, エアーブロ株式会社)	NMRマグネットへの乾燥空気供給	NMR装置は、超伝導マグネットへのサンプル挿入・取り出し、及びサンプル回転・温度調整のために圧縮乾燥空気が必要であり、圧縮乾燥空気が必要であれば全く測定ができない。今回の故障時には、圧縮機は動いているものの、内部のエアドライヤーが動かないため高温の空気が供給されず、エアドライヤーの修理により圧縮乾燥空気が供給できるようになれば、通常通りNMR測定が可能になる。		R5:438件, 336時間 R4:522件, 869時間 R3:448件, 281時間	29,160,000 ※落雷被害のため大学の保険で対応(金額は同じく被害のあったNMRコンソールも含まれている)。	2016/11/25	2024/12/13	1,591,260	故障中は測定ができなかったが、修理後は前年度と同程度の利用件数となった。 修理前:測定不可 修理後:171件(年度末まで。R5年度の同時期とほぼ同じ)

整理No.	部門名	機器名(規格・社名)等	主な用途	整備の必要性・効果	機器等の写真	年間利用数 (利用人数・利用時間)	取得金額 (税込):円	取得日	修理完了日	金額(税込):円	整備の効果(詳細ならびに客観的に分かる数値 (修理前後の利用件数の推移等))
5	物質科学研究支援部門	フーリエ変換赤外分光計(サーモフィッシャー・Nicolet iS5)	試料に赤外光を照射すると物質固有の吸収パターンを示す。この情報から、分子構造や官能基の情報を得ることにより、分子の定性・同定試験に利用することができる。	本装置は工学部、理学部、社会共創学部、農学部などの幅広い研究グループで利用されており、その件数も増加している。導入後12年が経過し、経年劣化によりレーザー光源の出力が低下している。そのため測定精度・感度の低下が問題となっており、早期の交換と調整が必要である。この部品交換により、今後10年間の教育研究の支援活動が可能となる。		2022年度:68件 2023年度:80件 (施設改修による停止期間あり) 2024年度:48件(11月末現在)	2,415,000	2012/10/1	2025/3/4	440,880	整備によりレーザーの出力が回復し、高感度で測定できることを確認した。予定よりも短時間で整備が完了したことから、R6年度は73件の利用があり、例年通りの利用件数であった。情報発信を行い、利用グループ数の増加に努める。
6	遺伝子解析研究支援部門	RI排水設備 制御盤 シーケンサー、モニタサ ンプリング切替装置電 磁弁	RIの排水の操作・制御。中央監視装置を介しての測定、記録。	不具合によりRIモニタリングシステムの自主点検に必要な情報を測定できず、排水するにもエラーが発生するなどの状況が起きているため点検・修理が必要。排水の制御並びにRI排水に関係する情報を測定することができ、放射線同位元素施設の法令を遵守した安全管理に貢献し、放射線同位元素を使った化学実験の教育研究に貢献する。		20人・一人当たり1時間半	排水制御盤のみで 128,000円 ※中央監視装置等を含め 7,430,400円	2016/3/15	2025/3/14	408,100	希釈槽内放流ポンプ2台の内一つが不良と判明し、応急処置として交互運転を取り止め1台のポンプのみで排水できるよう、ソフトを変更。モニター総合動作確認でβ線水モニタの故障が判明した。応急対策として、排水の都度希釈槽の水をサンプリングし液体シンチレーションカウンター及びオートガンマカウンターで測定して放流することで対応できるようにした。これにより法令に準拠した排水が可能となり、放射線実験を行うことができるようになった。2024年度放射線業務従事者数25人、2025年度放射線業務従事者数17人(5月現在)
<b>計</b>										<b>3,851,100</b>	

令和6年度予算額 5,443,418円 (令和5年度繰越分含む)

令和6年度支出額 3,851,100円 (令和6年度修理完了分を含む)

令和7年度繰越額 1,592,318円